

安倍政権は福島原発事故の放射線汚染水の海洋放出を止めろ！ トリチウム汚染水の海洋放出は沿岸地域の健康破壊をもたらす

経産省で福島原発事故の汚染水処理を検討してきた「多核種除去装置等処理水小委員会」の1月31日の報告書が公表された。小委では、当初の5案の中から「海洋放出」と「大気放出」の2案を現実的な選択肢とするとした。この決定は放出ありきで、トリチウムの安全性も検討されてない誤ったものである。今後の闘いで阻止すべきである。

トリチウム汚染水の危険性を無視した決定

今回の決定は、世界の原発推進国がトリチウム汚染水を海中に垂れ流していること、日本でも原発や再処理工場で垂れ流してきたことをもって、安全であるかのように判断していることが大きな誤りである。日本でも世界でも健康問題が発生しているのに、調査も対策も行われていない。

トリチウム原子(H3)は水素原子(H2)に置き換わって他の原子と結合する。体内にトリチウムが吸収され、体内の有機高分子の水素原子の代わりにトリチウム原子と結合すると、「有機結合型トリチウム」となり、遺伝情報を担うDNA内の水素と置き換わると、ガンや白血病など深刻な影響を与える。世界の現場から報告される「子どもたちの遺伝障害」「乳幼児死亡率」「小児白血病」の多発はこの影響を示している。今回の決定はこの事実を全く無視している。

タンクの汚染水には他の核種も多く残留している

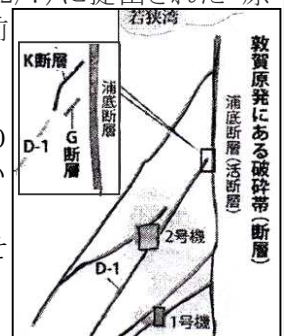
小委での審議では、ALPS処理の汚染水は浄化が不十分で、トリチウム以外の核物質を基準値以上の量を含んでいることが明らかにされた。そして、「放出前に再度処理し、その安全性を第3者が検証すること」「情報公開の徹底」が求められた。それぞれ必要なことではあるが、トリチウム汚染水の海洋放出が前提の対応に過ぎない。

今後は政府が地元関係者の意見を聞いた上で決定するという。漁業関係者をはじめ地元の反対は明らかである。地元だけでなく、全国、全世界の反対で阻止しよう！

規制委員会も怒る日本原電のでたらめさ

日本原電、敦賀2号の断層データを無断書換え

規制委の敦賀2号の審査会合(2/7)に提出された「原子炉建屋の地質データ」から、以前は記載されていた掘削し分析したデータが削除され、従来は地層が「未固結」と記述されていたのを10箇所以上で「固結」と書き換えていた。規制委は他の部分を含め、書換え理由を報告するよう指示し、それまでは審査を再開しないとされた。



原発事業者の信頼は地に落ちた

関電の原発建設と稼働のための「金品受領」、高浜原発の蒸気発生器細管の傷かくし、四電伊方での核暴走を止める制御棒「誤抜」事故、隠蔽されていた外部電力遮断をきっかけとする43分間の「燃料プール冷却停止」事故などが頻発、原発事業者への信頼は地に落ちている。

立ち腐る安倍政権を打倒しよう 嘘の上塗りでも立ち往生する首相

安倍政権の国政の私物化、国会答弁のでたらめさ、文書廃棄と提出拒否、でたらめな答弁にあわせて事実を捻じ曲げ、証拠を隠滅する官僚たちの対応は、首相の国会答弁の信頼性を揺らがせ、国政への信頼を失わせている。まさに民主主義が上部から破壊されている。

モリ、カケ、サクラと安倍首相が直接関与する疑獄が続く中で、安倍首相は自ら誤りを認めて辞職すべきだ、また政権与党は退任させるべきである。しかし安部首相は「一強体制」の下で政権にしがみついている。

「桜」夕食会の無記名領収書は虚偽答弁

政治資金規正法では、後援会などの収支は記載しなければならないし、選挙区の選挙民に対して金銭や飲食の提供をすることは許されない。安倍首相が選挙地区の800人を「桜を見る会」に招待し、前日の後援会主催の夕食会でホテルの食事を提供したとなれば、明らかな公選法違反である。それを誤魔化すために、各個人が会費を払ったと言い逃れてきた。しかし当のホテルは「宛名が空白の個人向け領収書は発行しない」「代金は主催者から支払いを受ける」と回答している。安倍首相は検察総長に友人を押し込んで逃げようとしているのか？

市民に拒否された「都構想」の再投票！ 大阪維新の大阪市の私物化を許すな！

「大阪都構想」の基本案が12月26日に大阪府・市の法定協議会で維新と公明の賛成で可決された。今後は2月に大阪市・府で具体案を検討し、総務省とすり合わせて最終案が6月頃に決まり、大阪市議会・府議会で決定される。そして、住民投票を11月上旬に行う予定である。

大阪市の破壊＝大阪維新の城下町にはさせない！

『都構想』で大阪市が解体されることで、水道や消防、都市計画といった広域にわたる行政は市から府に移管され、権限と予算を奪われ、特別区は削減された予算の枠内で子育てや福祉といった身近な課題だけを担わされる。『都構想』の経済効果は期待できず、組織替えて1500億円の費用がかかることだけは確実である。

『都構想』が実現すると、大阪府の予算と権限が大きくなり、府知事のトップダウン力が強くなる。大阪維新の独裁府政に一本化され、地域での民主的な自治活動が機能しなくなってしまうことは明らかである。

『都構想』反対の住民の運動で否決に！

共産党、立憲民主党、社民党など、そして自民党は『都構想』に反対である。党中央が賛成とした公明党の多くの支持者も反対である。全力で否決の運動を展開しよう！

政府が「処理水放出」を各国大使館に (2/13 日経産業)

政府は2月3日に、福島原発事故の処理水の放出について、各国の在京大使館関係者に向けて説明会を外務省で開いた。23の国から28人が参加した。政府は、「近隣国への影響は、今の時点では影響があるとは考えていない」とした。韓国はIAEAでは海洋放出に懸念を表明していたが、今回の説明会では抗議はしなかった。

自衛隊の「武器等防護」昨年14件 (2/15 朝日)

防衛省は14日、安全保障関連法に基づき自衛隊が米軍の艦船や航空機を守る「武器等防護」を2019年度に14件実施したと発表した。この任務は2016年の「安保法」の成立で「可能」となった戦争協力である。

高浜3号の蒸気発生器細管に傷 (2/18 美浜の会)

高浜3号の蒸気発生器細管2本で傷が見つかった。第3管指示板で外側からの傷となっているという。直ちに高浜4号の稼働を止めることを要求しよう。高浜では3号、4号、そしてまた3号と立て続けに蒸気発生器細管の損傷が起こっており、関電は対策を見直すべきだ。

籠池前理事長夫妻に大阪地裁が判決 (2/19 朝日)

本来は、籠池夫妻と並んで有罪判決を受けるべき安倍首相夫妻は嘘つき官僚に守られてのうのうと生活し、警察と検察は「口封じのための国策捜査」を行ない、籠池夫妻は異様な長期拘留。判事は事件の本筋は隠蔽したままで口封じのための「懲役5年」の判決を下した。

自主避難区域住民ら東電に勝訴 (2/19 朝日)

2月19日に福島地裁で、福島県内の自主的避難等対象区域に住む52人が東電に精神的損害賠償を求めた集団訴訟の判決があった。裁判長は「放射線被曝に対する恐怖と不安の中での生活を余儀なくされた」として50人の請求を認めて、東電に計1200万円の賠償を命じた。東電は昨年末の裁判所の和解案を拒否していた。

「おばちゃん」平和運動 (朝日新聞 2/5) 「大阪大空襲の体験を語る会」来月末に解散

1971年に空襲体験を持つ金野さんや久保さんによって始められた、「大阪大空襲の体験を語る会」が3月末に解散することになったと報道されている。(朝日新聞 2/5) 無名の主婦が声をあげ、「大阪大空襲体験記」を、そして「大阪空襲体験画」を記録し刊行して行った。会員は語り部として学校で体験を話した。そうした活動が、大阪の平和資料館「ピースおおさか」の基を作って行った。久保さんは今後も体調の許す限り語り続けるとのことである。

講演会「大阪大空襲と香里〈爆弾〉製造所」

2018年9月2日に、ピースを取り戻す会主催で、久保三也子さんに、講演をしていただいた。久保さんは、大阪での空襲の経過と、大阪大空襲の被害の証言、学徒動員されていた軍需工場の被災、香里〈爆弾〉製造所で弾製造について述べられた。終戦前日の8月14日の京橋駅空襲についてもその悲惨さを語られた。

そして戦後の「大阪大空襲の体験を語る会」の発足に関わり、ピースおおさかの設立にも深く関与された経過が述べられた。講演はDVDに記録され、取り戻す会が販売。



頒価 300円)

案内 3/8「さよなら原発大阪集会」に結集を!

福島原発事故から9年。福島事故は収束していないのに、政府はなかつたことにしようとしている。無駄な費用を浪費しながら危険な原発を続けている。原発NO!、核燃料サイクルNO!を掲げて全国に連帯して大阪集会に参加しよう!

場所:エルおおさか 大ホール
時刻:13:00~ 16:00~デモ行進



案内 3/20 吹田事件フィールドワーク (13時 JR千里丘)

吹田事件は、1952年、朝鮮戦争に反対し朝鮮半島へ侵攻する米軍に「武器弾薬を送らせてはならない!」として起ち上がった反戦運動です。それは在日朝鮮人と日本人がスクラムを組んで闘った歴史的な平和運動でした。

米軍の朝鮮侵略戦争に反対し敢然と起ち上がった先人の足跡をたどり日本の将来と反戦平和について考える機会にしたいと思います。(主催:大阪城狛犬会、ほか)

案内 3/21「きけ、わたつみの声」上映会



戦争末期に、『学徒出陣』で約10万人の学生が戦場に動員された。戦場での下士官要員の不足対策と、空と海での特攻兵として動員された。

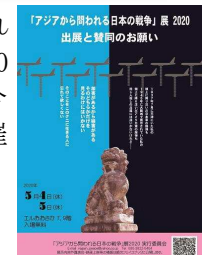
今回、「出陣学徒壮行会」と「きけ、わたつみの声」の2本の映画を上映し、戦争とは何かを論議したい。

日時:3月21日 13:30~16:30
場所:エルおおさか5階 視聴覚室

案内 4月4日~5日 エルおおさか(天満橋) 「アジアから問われる日本の戦争」展 2020

昨年4月29~30日に「アジアから問われる日本の戦争」展が開かれました。約20団体と700名の参加で成功しました。今回はより規模を拡大して5月4-5日に開催します。ご家族・友人を誘って参加を!

5月4日~5日 朝から晩まで
エルおおさか(天満橋)7・9階で



報告 集会「政治の『底割れ』と社会の『劣化』」

2月22日に豊中のアクア文化ホールで開かれた集会には会場内に500人、入場できなかった多数がロビーで参加した。高村薫さんと青木理さんの対談は、「言葉が届かない」「日本の半分の人たちが『底割れとも劣化とも』思っていないことを認識すべき」という高村さんの提起で始まった。青木さんは安倍政権の7年間で排外主義と不寛容を加速したことを強調した。検察・警察人事にも安倍が介入していることが論議され、最後に「自分の頭で考え、自分の言葉で意見を言うて行く」ことが強調された。

立憲民主党の川内博史、辻本清美、共産党の辰巳コータロー、清水ただしの4氏が国会での森友・さくら問題の追及の報告を行った。



案内 3/28「怒りのデモ 4年目集会」/豊中中央公民館 14:00

「脱原発・放射能汚染を考える」No213 (2020/2/24)